

# 色使いなどで氣を調和

## 琉球風水で心地よい家づくり

執筆/横川明子  
(琉球風水スクール  
「アムリタ」主宰)

今回は、人の活動が比較的静かで、落ち着いた氣を好む陰の空間の整え方を解説します。



よこかわ・あきこ / 東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948(受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み)。ホームページ <http://aromarine.jp> ブログ <http://ameblo.jp/marine-sapphire/>

洗面所を例に考えてみましょう。

### 洗面所は北側と相性◎

陰の空間は、光穏やかな北側の陰の方位と相性が良いと考えます。自然に備わっている陰の氣を、程よく維持することを心がけます。陰氣になり過ぎないように、明るい色や温かみのある色使いなどで適度に陽の氣も取り入れ、バランスを取りましょう。

一方、洗面所が南側の陽の方位にある場合は、陰の氣が不足しています。寒色系の色を使う

## 心穏やかに過ごす陰の空間

など意識的に陰の氣を補うことで、バランスの取れた空間をつくるのが可能です(表2参照)。

陰と陽は、どちらかに偏り過ぎることを好まず、その空間の性質に合わせて必要な氣が満たされ、バランスが取れている状態を良しとします。これを踏まえた上で、空間をどうデザインするかは、住む人の美的センスや心地よさに対する感覚が中心となります。風水を取り入れながらもあなたらしく、自由にインテリアを楽しんでください。

|| 毎月第3週に掲載

### 陰の空間

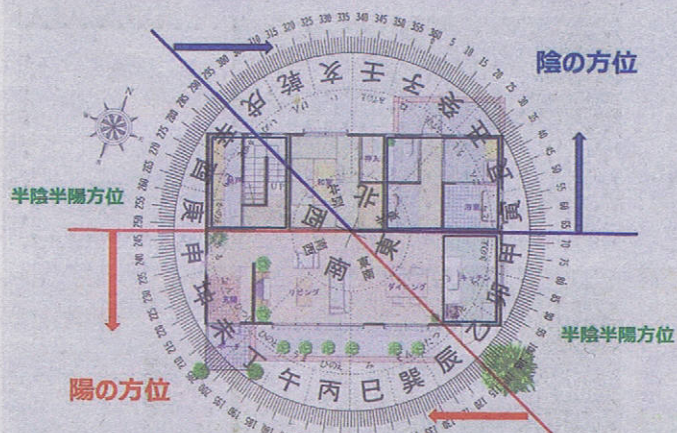
- 水回り
- 寝室
- 勉強部屋
- 書斎
- 収納庫 など

表1

### 住宅内における陰の空間

住宅内における陰の空間とは、人の活動が静かで、心穏やかに過ごす部屋であり、主にプライベート空間です。

図1 陰陽空間と陰陽方位の図面



陰の空間を青で囲いました。水回りや納戸は陰の方位にあり、氣が調和しています。トイレや洗面所は陰の空間ですが、来客時にお客さまが使用する可能性があり、パブリック空間の一面も持っています。お客さまと共用するトイレや洗面所は、パブリック空間とプライベート空間の接点に近いところや、半陰半陽方位に置くと使い勝手が良くなります。

洗面台やトイレのドアは、リビングやダイニングから直接見えないように、少し奥まった所に配置すると、落ち着いて利用できるでしょう。

### 陰の方位(北側)にある場合

陰の氣を程よく維持



光穏やかな落ち着いた気のある陰の方位と、洗面所との相性は良いと考えます。空間に陰のエネルギーが自然と備わっています。暗過ぎたり、湿気がこもるなど、陰氣が強くなり過ぎると氣が滞ります。換気、乾燥を意識して、穏やかに陽を取り入れながら、バランスを取ります。

黒やグレーなどの陰の強い色を広範

囲に使うと、陰性に偏り過ぎます。淡い色使いは、陰の穏やかさを程よく維持します。

一方、白系や明るい色は、適度に陽の氣をもたらします。窓がなくて暗かったり、冬場の冷えが気になるようなら、ピンクや黄色など陽の色を入れると温かみが出てきます。

### 陽の方位(南側)にある場合

陰の氣を意識して補う



活気のあるエネルギーが入ってくる陽の方位の洗面所では、陰の氣が不足するため意識的に補います。しかし、黒やグレーなどの強い陰性の色より、ブルーやグリーンといった淡い寒色系などで穏やかに陰を補ったほうが、バランスが取りやすいでしょう。

タオルなどのファブリック類や置物など、ちょっとした小物の色を意識し、

統一感を出すことで、不足している氣を補うことができます。

また、目に映るアクセントとなるものに、華やかさをプラスすることは、良い意味で陽をプラスします。パブリック性の一面にも配慮した美しい空間づくりも、陰陽バランスを整えるというアプローチから、ぜひ、実践してください。